

Technical Japan
技をデザインする。
代表取締役

浮田 真吾 様



無駄な転記作業はすべて自動化！ 効率化で社長・職人・事務が役割に集中、 大型案件の受注も実現

御社について教えてください

設立は2012年。埼玉県をメインに大規模施設の塗装工事・防水工事・シーリング工事、大規模修繕工事の施工・補修を行っています。従業員は職人6名、事務1名の7名です。

導入前に課題と感じていたことは？

引き合いが発生してから、事務への共有、現場に行く職人への共有、現場が始まってからの報告、完工して請求、といった一連の作業をそれぞれ別々のツール（Googleカレンダー、ジョルテ、evernote、ホワイトボード、ANDPADなど）を使って行っていたので、無駄な転記作業が毎日発生していました。

また、紙で運用していた日報も職人の手書きのため、記入ミスや字が読めず、集計にさらに時間がかかることにも頭を悩ませていました。

導入後、改善された実感はありますか？

導入してからは、クラフトバンクオフィスへの1回の入力だけでよくなり、1日の4分の1を使っていた転記作業がなくなりました。

今は、引き合いが来たら事務がクラフトバンクオフィスに情報を入れるところからスタートし、全員がいつでもその情報にアクセスできる仕組みができています。案件に関連する予定、日報、写真がすべて紐づいているので管理も簡単。特に、1日100枚近く整理することもある写真の管理がとても楽になりました。LINEからひとつひとつサーバーに移す作業がなくなり、職長も喜んでいました。

サポート体制について

社長の自分が、毎日の事務作業に追われてしまっていた部分が解消されたおかげで、営業活動に時間を割けるようになったのは大きな変化です。2000万円規模の大型案件も決まり始めており、社長、職人、事務のそれぞれが役割に集中できるようになったので、成長の基盤を整えられたと思っています。